

コンクリート構造物品質確保推進活動実施要領

1 目的

この実施要領は、県南コンクリート構造物品質確保推進協議会規約第3条第1号に規定するコンクリート構造物品質確保推進活動（以下「QC活動」¹という。）の実施に関して必要な事項を定め、コンクリート構造物の品質確保及びコンクリート施工管理技術に関する人材を育成することを目的とする。

2 対象工事

QC活動の対象構造物は、現場打ち構造物のうち鉄筋コンクリート構造物、プレストレストコンクリート構造物及び水密性を要する無筋構造物とする。

3 QC活動

発注機関の監督員（以下「監督員」という。）、受注者及び生コンクリート生産者（以下「生産者」という。）は、次の各段階において品質の確保に協働で取り組むものとする。

（1）施工企画段階（Plan）

- ・ 受注者は、コンクリート構造物の品質確保の観点から、必要に応じて生産者等の専門家の意見を聞き、材料、配合、打設方法、締固方法、養生方法、必要となる作業人員や機材等について十分に検討し、施工体制を整備する。

（2）コンクリート打設・養生段階（Do）

- ・ 受注者は、「施工状況把握チェックシート」²（様式1又は様式2）及び「打設時間管理表」（様式3）により、コンクリート関連の技術基準を遵守しながら施工する。
- ・ 監督員は、最初の1リフト目で臨場し、「施工状況把握チェックシート」により施工状況を把握する。その際に改善を要する事項があった場合は改善指示し、次ロットでも臨場して改善状況を把握する。
- ・ やむをえず監督員が臨場できない場合は、受注者は「施工状況把握チェックシート」及び「打設時間管理表」を監督員に提出し、施工状況を報告するものとする。

（3）脱型段階（Check）

- ・ 受注者は、脱型後コンクリートの表面状態を観察し、ひび割れ調査³の結果を「ひび割れ調査票」（様式6-1及び様式6-2）に記録するとともに、「表層目視評価法」⁴（様式4及び様式5）を用いて表層の品質を定量評価する。

¹ 「QC活動」：品質の向上及び改善のための活動（QC：Quality Controlの略）

² 「施工状況把握チェックシート」：共通仕様書等の技術基準で特に重要なものをチェックシートとして整理したもの

³ 「ひび割れ調査」：土木工事施工管理基準（品質管理）に基づくひび割れ調査（必須）

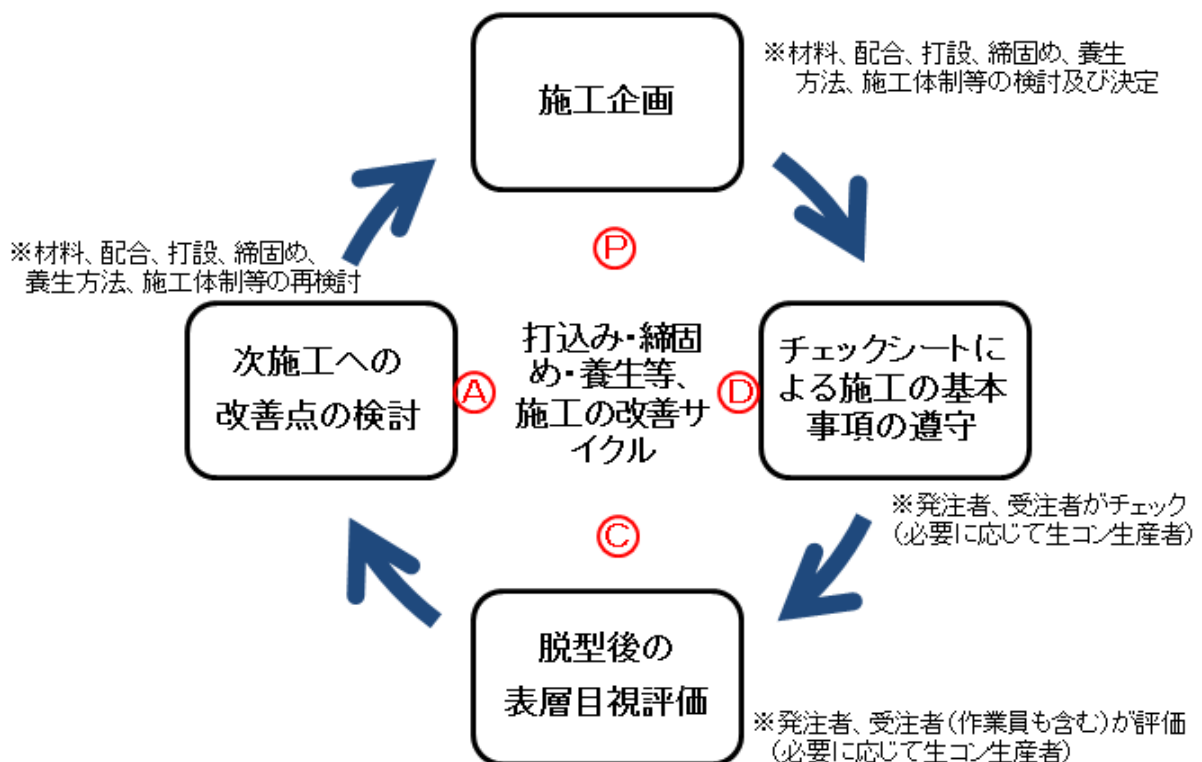
⁴ 「表層目視評価法」：横浜国立大学細田教授と鹿島建設の協同開発による表層品質評価手法

- ・ 監督員は、原則として、最初1リフト目で臨場し、「表層目視評価法」を用いて表層の仕上がりを把握する。その際に評価点が2点以下となる項目があった場合は、次リフトでも臨場して改善状況を把握する。
- ・ やむをえず監督員が臨場できない場合は、受注者は「目視評価法による評価結果」（様式5）を監督員に提出し、表層の品質状態を報告するものとする。

(4) 改善検討段階 (Action)

- ・ 受注者は、必要に応じて発注者及び生産者との意見交換を実施し、施工状況チェックシート、打設時間管理表、及び表層目視評価及び意見交換結果を踏まえて、次リフト（又は次回施工）の品質向上のため、改善策を検討する。

県南地域におけるQC活動



4 適用

この要領は、平成29年4月28日から適用する。

この要領は、平成30年7月13日から適用する。

施工状況把握チェックシート【一般構造物用】

振興局名					工事名			工区	
構造物名					部位			リフト	
受注者					確認者				
配合					確認日時				
打込み開始時刻	予定		実績		打込み開始時気温	天候			
打込み終了時刻	予定		実績		打込み量 (m ³)	リフト高 (m)			
施工段階	チェック項目						施工計画	メモ	確認
準備	運搬装置・打込み設備は汚れていないか。								
	型枠面は湿らせているか。また、打継面は吸水させているか。								
	型枠、鉄筋が直射日光を受け、高温になる恐れがある場合は、散水及び覆い等をしているか。								
	地盤が凍結している場合、これを溶かしているか。また、溶かした水分は除去しているか。								
	型枠内部に、木屑や結束線等の異物はないか。								
	かぶり内に結束線はないか。								
	硬化したコンクリートの表面のレイタンス、緩んだ骨材等は取り除いているか。								
	コンクリート打込み作業人員 ^(※) に余裕を持たせているか。								
	予備のバイブレータを準備しているか。								
発電機のトラブルがないよう、事前にチェックをしているか。									
配合	減水剤、A E減水剤、流動化剤等を使用する場合は、必要に応じて遅延型を選定しているか。								
	A Eコンクリートを使用しているか。								
運搬	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は2時間以内としているか。 練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は1.5時間以内としているか。								
	コンクリートが乾燥したり熱せられたりしない装置及び方法で運搬しているか。								
打込み	ポンプや配管内面の潤滑性を確保するため、先送りモルタルの圧送等の処置を施しているか。また、先送りモルタルは筒先で回収し、廃棄しているか。								
	打設時のコンクリート温度は、35℃以下としているか。 打設時のコンクリート温度を5～20℃の範囲としているか。								
	鉄筋、型枠等に氷雪が付着した状態でコンクリートを打設していないか。								
	鉄筋や型枠に衝撃を与えていないか。衝撃で鉄筋や型枠が乱れていないか。								
	横移動が不要となる適切な位置に、コンクリートを垂直に降ろしているか。								
	コンクリートは、打込みが完了するまで連続して打ち込んでいるか。								
	コンクリートの表面が水平になるように打ち込んでいるか。								
	一層の高さは、50cm以下としているか。								
	2層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行っているか。								
締固め	ポンプ配管等の吐出口から打込み面までの高さは1.5m以下で、できるだけ低い位置から打ち込んでいるか。								
	表面にブリーディング水がある場合には、これを取り除いてからコンクリートを打ち込んでいるか。								
	バイブレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。								
	バイブレータを鉛直に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。								
	バイブレータの振動時間は適切か（表面に光沢が出る程度。一般的に5～15秒）。								
	締固め作業中に、バイブレータを鉄筋等に接触させていないか。								
バイブレータでコンクリートを横移動させていないか。									
バイブレータは、穴が残らないように徐々に引き抜いているか。									

養生	硬化を始めるまでに乾燥するおそれがある場合は、シートなどで日よけや風よけを設けているか。			
	打設終了後、速やかに養生を開始し、コンクリートの表面を乾燥から保護しているか。また気温が高く湿度が低い場合に、急激な乾燥によるひび割れ等を防ぐため、直射日光、風等を防ぐための必要な処置をしているか。			
	打設終了後、直ちにシートその他の材料で表面を覆い、養生を始めるまでの間、コンクリートの表面温度の急冷を防いでいるか。			
	打設後の初期に凍結しないよう保護しているか（特に風を防いでいるか）。			
	給熱養生する場合、コンクリートが局部的に乾燥又は熱せられないようにしているか。また、保温養生終了後、コンクリート温度を急速に低下させていないか。			
	養生中のコンクリート温度を5℃以上に保っているか。			
	コンクリートの露出面を湿潤状態に保っているか。			
	湿潤状態を保つ期間は適切であるか。			
	養生期間の後、さらに2日間はコンクリートの温度を0℃以上に保っているか。			
	型枠および支保工の取外しは、コンクリートが必要な強度に達した後であるか。			
要改善事項等				

※コンクリート打込み作業員・・・コンクリートの打込み・締固め作業時の人員のうち、直接作業に携わらない者（監理・主任技術者やポンプ車運転手等）を除いた人員

※暑中コンクリート：日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行う。

※寒中コンクリート：日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行う。

施工状況把握チェックシート【一般構造物用】

振興局名	〇〇地域振興局			工事名	県道〇〇線 道路改良工事		工区	1		
構造物名	〇〇橋 A1橋台			部位	たて壁		リフト	2		
受注者	〇〇建設(株)			確認者	主任監督員 〇〇〇〇					
配合	27-8-20BB			確認日時	2012/10/11(木) 7:30~13:30					
打込み開始時刻	予定	8:00	実績	8:10	打込み開始時気温	22.0℃	天候	曇のち晴		
打込み終了時刻	予定	12:00	実績	12:20	打込み量(m³)	80	リフト高(m)	3.0		
施工段階	チェック項目						施工計画	メモ	確認	
準備	運搬装置・打込み設備は汚れていないか。								○	
	型枠面は湿らせているか。また、打継面は吸水させているか。								○	
	型枠内部に、木屑や結束線等の異物はないか。								※1	
	かぶり内に結束線はないか。								○	
	硬化したコンクリートの表面のレイタンス、緩んだ骨材等は取り除いているか。								○	
	コンクリート打込み作業人員(※)に余裕を持たせているか。							8人	○	
	予備のバイブレータを準備しているか。						使用4台 予備1台	使用4台 予備1台	○	
	発電機のトラブルがないよう、事前にチェックをしているか。								○	
運搬	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は適切であるか。							50~60分	○	
打込み	ポンプや配管内面の潤滑性を確保するため、先送りモルタルの圧送等の処置を施しているか。また、先送りモルタルは筒先で回収し、廃棄しているか。								○	
	鉄筋や型枠に衝撃を与えていないか。衝撃で鉄筋や型枠は乱れていないか。								○	
	横移動が不要となる適切な位置に、コンクリートを垂直に降ろしているか。								○	
	コンクリートは、打込みが完了するまで連続して打ち込んでいるか。								○	
	コンクリートの表面が水平になるように打ち込んでいるか。								○	
	一層の高さは、50cm以下としているか。						50cm×6層	50cm	○	
	2層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行っているか。								○	
	ポンプ配管等の吐出口から打込み面までの高さは1.5m以下で、できるだけ低い位置から打ち込んでいるか。 表面にブリーディング水がある場合には、これを取り除いてからコンクリートを打ち込んでいるか。							約2m→ 1m以下	※2	
締固め	バイブレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。						50cm.60cm 位置にテープ		○	
	バイブレータを鉛直に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。						型枠に50cm 間隔でテープ		○	
	バイブレータの振動時間は適切か(表面に光沢が出る程度。一般的に5~15秒)。						目安8秒	6秒~10秒	○	
	締固め作業中に、バイブレータを鉄筋等に接触させていないか。								○	
	バイブレータでコンクリートを横移動させていないか。								○	
	バイブレータは、穴が残らないように徐々に引き抜いているか。								○	
養生	硬化を始めるまでに乾燥するおそれがある場合は、シートなどで日よけや風よけを設けているか。								○	
	コンクリートの露出面を湿潤状態に保っているか。						表面養生剤 を塗布		○	
	湿潤状態を保つ期間は適切であるか。						10日間	10日間以上	○	
	型枠および支保工の取外しは、コンクリートが必要な強度に達した後であるか。						5.0N/mm²	5N/mm²以上	○	
要改善事項等	※1 型枠内部に結束線(3本)が落ちていたため、打込み前に取り除かせた。 ※2 排出口から打込み面までの高さが、明らかに1.5mを超えていたため、口頭で注意したところ、是正された。 上記※1, ※2についての是正を確認するため、次回打込み時も施工状況把握を行う。									

※コンクリート打込み作業人員・・・コンクリートの打込み・締固め作業時の人員のうち、直接作業に携わらない者(監理・主任技術者やポンプ車運転手等)を除いた人員

施工状況把握チェックシート【砂防堰堤用】

振興局名				工事名				工区		
構造物名				部位				リフト		
受注者				確認者						
配合				確認日時						
打込み開始時刻	予定		実績		打込み開始時気温		天候			
打込み終了時刻	予定		実績		打込み量 (m ³)		リフト高 (m)			
施工段階	チェック項目							施工計画	メモ	確認
準備	運搬装置・打込み設備は汚れていないか。									
	打設前に基礎岩盤面の浮石、堆積物、油、岩片等を除去したうえで、圧力水等により清掃し、溜水、砂等を除去したか。									
	型枠面は湿らせているか。また、基礎岩盤面及び打継面は吸水させているか。									
	型枠、鉄筋が直射日光を受け、高温になる恐れがある場合は、散水及び覆い等をしているか。									
	地盤が凍結している場合、これを溶かしているか。また、溶かした水分は除去しているか。									
	型枠内部に、木屑や結束線等の異物はないか。									
	水平打継面は、圧力水等によりレイタンス、雑物を取り除くと共に清掃したか。									
	コンクリート打込み作業人員 ^(※) に余裕を持たせているか。									
	予備のパイプレータを準備しているか。									
発電機のトラブルがないよう、事前にチェックをしているか。										
配合	減水剤、A E減水剤、流動化剤等を使用する場合は、必要に応じて遅延型を選定しているか。									
	A Eコンクリートを使用しているか。									
運搬	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は2時間以内としているか。 練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は1.5時間以内としているか。									
	コンクリートが乾燥したり熱せられたりしない装置及び方法で運搬しているか。									
打込み	基礎岩盤及び水平打継面には、湿潤状態にしたうえで、岩盤で2cm、水平打継面で1.5cm程度のモルタルを塗り込むように敷均したか。									
	打設時のコンクリート温度は、35℃以下としているか。 打設時のコンクリート温度を5～20℃の範囲としているか。									
	モルタルの配合は、本体コンクリートの品質を損なわないよう、W/Cを設定しているか。									
	鉄筋、型枠に冰雪が付着した状態でコンクリートを打設していないか。									
	型枠に衝撃を与えていないか。衝撃で型枠が変形していないか。									
	バケットをその下端が打込み面上1m以下に達するまで降ろし、打込み箇所のできるだけ近くにコンクリートを排出し、直ちに締固めているか。									
	1リフトは0.75m以上2.0m以下とし、打込みが完了するまで連続して打ち込んだか。									
	コンクリートの表面が水平になるように打ち込んでいるか。									
	締固め後の一層の高さが40～50cmとなるよう打ち込んでいるか。									
	2層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行っているか。									
リフト高に応じて、打設インターバル（リフト高さが0.75m以上1.0m未満は中2日、1.0m以上1.5m未満の場合は中3日、1.5m以上2.0m以下は中4日）を確保しているか。										
表面にブリーディング水がある場合には、これを取り除いてからコンクリートを打ち込んでいるか。										

締固め	バイブレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。			
	バイブレータを鉛直に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。			
	バイブレータの振動時間は適切か（表面に光沢が出る程度。一般的に5～15秒）。			
	バイブレータでコンクリートを横移動させていないか。			
	バイブレータは、穴が残らないように徐々に引き抜いているか。			
養生他	硬化を始めるまでに乾燥するおそれがある場合は、シートなどで日よけや風よけを設けているか。			
	打設終了後、直ちにシートその他の材料で表面を覆い、養生を始めるまでの間、コンクリート表面温度の急冷を防いでいるか。			
	打設後の初期に凍結を受けないよう保護しているか（特に風を防いでいるか）。			
	養生方法は、外気温、配合、構造物の大きさを考慮して適切か。			
	給熱養生する場合、コンクリートが局部的に乾燥又は熱せられないようにしているか。また、保温養生終了後、コンクリート温度を急速に低下させていないか。			
	養生中のコンクリート温度を5℃以上に保っているか。			
	コンクリートの露出面を湿潤状態に保っているか。			
	湿潤状態を保つ期間は適切であるか。			
養生期間の後、さらに2日間はコンクリートの温度を0℃以上に保っているか。				
要改善事項等	合成樹脂製の止水板を使用する場合は突合せ溶接とし、接合部の止水性について、監督員の確認を受けているか。			

※コンクリート打込み作業人員・・・コンクリートの打込み・締固め作業時の人員のうち、直接作業に携わらない者（監理・主任技術者やポンプ車運転手等）を除いた人員

※暑中コンクリート：日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行う。
寒中コンクリート：日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行う。

施工状況把握チェックシート【砂防堰堤用】

振興局名	〇〇地域振興局			工事名	火山砂防（〇〇堰堤）工事		工区	1
構造物名	〇〇堰堤			部位	本堤工		リフト	15
受注者	〇〇建設（株）			確認者	主任監督員 〇〇〇〇			
配合	21-5-40BB			確認日時	2012/10/11（木）7:30～13:30			
打込み開始時刻	予定	8:00	実績	8:10	打込み開始時気温	22.0℃	天候	曇のち晴
打込み終了時刻	予定	12:00	実績	12:20	打込み量（m ³ ）	80	リフト高（m）	2.0
施工段階	チェック項目					施工計画	メモ	確認
準備	運搬装置・打込み設備は汚れていないか。							○
	打設前に基礎岩盤面の浮石、堆積物、油、岩片等を除去し、清掃し、溜水、砂等を除去したか。							○
	型枠面は湿らせているか。また、基礎岩盤面及び打継面は吸水させているか。							※1
	型枠内部に、木屑や結束線等の異物はないか。							○
	水平打継面は、圧力水等によりレイタンス、雑物を取り除くと共に清掃したか。							○
	コンクリート打込み作業人員（※）に余裕を持たせているか。						8人	○
	予備のバイブレータを準備しているか。					使用4台 予備1台	使用4台 予備1台	○
	発電機のトラブルがないよう、事前にチェックをしているか。							○
運搬	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は適切であるか。						50～60分	○
打込み	基礎岩盤及び水平打継面には、湿潤状態にしたうえで、岩盤で2cm、水平打継面で1.5cm程度のモルタルを塗り込むように敷均したか。							○
	モルタルの配合は、本体コンクリートの品質を損なわないよう、本体コンクリートのW/C以下としているか。							○
	型枠に衝撃を与えていないか。衝撃で型枠が変形していないか。							○
	バケツをその下端が打込み面上1m以下に達するまで降ろし、打込み箇所のできるだけ近くにコンクリートを排出し、直ちに締固めているか。						約1.5m→ 1m以下	※2
	1リフトは0.75m以上2.0m以下とし、打込みが完了するまで連続して打ち込んだか。							○
	コンクリートの表面が水平になるように打ち込んでいるか。							○
	締固め後の一層の高さが40～50cmとなるよう打ち込んでいるか。					50cm×6層	50cm	○
	2層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行っているか。							○
	リフト高に応じて、打設インターバル（リフト高さが0.75m以上1.0m未満は中2日、1.0m以上1.5m未満の場合は中3日、1.5m以上2.0m以下は中4日）を確保しているか。							○
表面にブリーディング水がある場合には、これを取り除いてからコンクリートを打ち込んでいるか。							○	
締固め	バイブレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。					50cm,60cm 位置にテープ		○
	バイブレータを鉛直に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。					型枠に50cm 間隔でテープ		※3
	バイブレータの振動時間は適切か（表面に光沢が出る程度。一般的に5～15秒）。					目安8秒	6秒～10秒	○
	バイブレータでコンクリートを横移動させていないか。							○
養生	パイブレータは、穴が残らないように徐々に引き抜いているか。							○
	硬化を始めるまでに乾燥するおそれがある場合は、シートなどで日よけや風よけを設けているか。							○
	養生方法は、外気温、配合、構造物の大きさを考慮して適切か。							○
	コンクリートの露出面を湿潤状態に保っているか。							○
要改善事項等	湿潤状態を保つ期間は適切であるか。					10日間	10日間以上	○
	合成樹脂製の止水板を使用する場合は突合せ溶接とし、接合部の止水性について、監督員の確認を受けているか。							○

施工計画書や打合せから事前に把握できた内容をメモする。

臨場時に把握した数値を記入。

養生については、後日記入をする。

※コンクリート打込み作業人員・・・コンクリートの打込み・締固め作業時の人員のうち、直接作業に携わらない者（監理・主任技術者やポンプ車運転手等）を除いた人員

様式3

工事番号	
工事名	

構造物名	A1橋台
打設箇所	第1リフト
打設日	H29.4.1

打設時間管理表

番号	A	B	C	D	B-A	D-A	打設量	温度管理		備考
	プラント 出発時間	到着時間	打設開始時間	打設終了時間	運搬時間	練りはじめ ～打設完了 までの時間		コンクリート 温度	気温	
1	8:20	8:40	8:55	9:20	0:20	1:00	0.2			先送りモルタル、回収
2	8:40	9:05	9:10	9:40	0:25	1:00	3.5			1層目
3										〃
4										〃
5										〃
6										1層目、2層目
7										2層目
8										〃
9										〃
10										2層目、3層目
11										3層目
12										〃
13										〃
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
合計										



納入伝票と一致すること。

実際の打設時間を記載すること。

納入伝票と一致すること。

(様式4)

表層目視評価法の評価基準

評価基準 評価項目	一般的に「良」とされる範囲				不適合
	4点	3点	2点	1点	
①沈みひび割れ	 ・ピーコン近傍にも沈みひび割れがない	 ・目視調査範囲のピーコンの概ね1/5以上に沈みひび割れが発生 ・ピーコン直径の3倍以上の長さの沈みひび割れが発生	 ・目視調査範囲のピーコンの概ね1/2以上に沈みひび割れが発生 ・ピーコン直径の5倍以上の長さの沈みひび割れが発生	 ・2点の状態よりも劣る	構造物のオーナーから不具合と判定される状況で補修を要するもの
②表面気泡	 ・5mm以下の気泡がほとんどない (目安:概ね50個以下/m ²)	 ・5mm以下の気泡が認められる (目安:概ね50個以上/m ²)	 ・10mm以下の気泡が認められる (目安:概ね50個以上/m ²)	 ・2点の状態よりも劣る	
③打重ね線	 ・近接では打重ね線が認められるものの、約10m離れた遠方からは認められない	 ・約10m離れた遠方から、打重ね線が認められる	 ・約10m離れた遠方から、打重ね線がはっきりと認められる	 ・2点の状態よりも劣る	
④型枠継ぎ目のノロ漏れ	 ・調査対象範囲にノロ漏れがほとんど認められない	 ・調査対象範囲の概ね1/10以上にノロ漏れが認められる	 ・調査対象範囲の概ね1/3以上にノロ漏れが認められる	 ・2点の状態よりも劣る	
⑤砂すじ	 ・調査対象範囲に砂すじがほとんど認められない	 ・調査対象範囲の概ね1/10以上に砂すじが認められる	 ・調査対象範囲の概ね1/3以上に砂すじが認められる	 ・2点の状態よりも劣る	

(注) 各評価点の中間に位置するものもあるため、実際の評価にあたっては0.5点単位で7段階(4点、3.5点、3点、2.5点、2点、1.5点、1点)で評価する。

(様式 5)

目視評価法による評価結果 (例)

対象構造物：橋台 (A1)

		第1リフト	第2リフト
評価結果	沈みひび割れ	1.0	
	表面気泡	2.5	
	打重ね線	3.0	
	ノロ漏れ	3.0	
	砂すじ	1.5	
原因分析と改善方策の検討	原因分析	① ② ③ ④ ⑤	
	改善方策	① ② ③ ④ ⑤	

- 注) ①「表層目視評価」、「原因分析と改善方策の検討」は、作業員と共に行うことが望ましい。
 ②「原因分析」欄には、評価結果からその原因を分析し、その内容を記載すること。
 ③「改善方策」欄には、評価結果及び原因分析から、次回の施工に向けての改善策を検討し、その内容を記載すること。

(様式6-1)

ひび割れ調査票(その①)

工事番号		構造物名	
工事名		打設箇所	
受注者名			

ひび割れ概要図

正面図 背面図

側面図(左) 側面図(右)

※図中にひび割れ番号を付し、調査票②の番号と整合させること。
※対象構造物は、施工管理基準(品質管理)を参照のこと。

(様式6-2)

ひび割れ調査票(その②)

工事番号		構造物名	A1橋台
工事名		打設箇所	第1リフト
受注者名			

番号	発見日	原因	調査箇所	ひび割れ調査結果					補修日
					①	②	③	④	
例)1	H30.7.13	外部拘束	背面	調査日	H30.7.13	H30.8.1	H30.9.1	H30.10.1	H30.11.10
				幅	0.15mm	0.20mm	0.25mm	0.25mm	
				長さ	1.53m	1.55m	1.55m	1.55m	
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					
				調査日					
				幅					
				長さ					